

オープンキャンパスで広がった進路の選択肢

Ⅰ年生 産業社会と人間 全体発表

2026.9.10

Ⅰ年生の「産業社会と人間」で、夏休みに参加したオープンキャンパスについて代表者による全体発表を行いました。生徒たちは、農業、動物、調理、ブライダル、看護・医療など、さまざまな分野の大学や専門学校を訪問しました。



代表者の発表を聞くⅠ年生



オープンキャンパスでの発見を伝える発表者

現地で見つけた学校の雰囲気と学び

発表では、「パンフレットの文字だけでは分からなかった学校の雰囲気が見えてきた」「現役の学生と話し、実際の学校生活について聞くことができた」など、現地を訪れたからこそ得られた気づきが紹介されました。明るくおしゃれな校舎や勉強しやすいカフェ、学生寮、独自の奨学金制度、活発なサークル活動など、学びを支える環境にも注目していました。

体験を通して知った専門分野の魅力

地下の水族館や動物の手術室、土を使わない農業、マウスを使ったがんの早期発見につながる研究など、充実した施設や先進的な研究に驚いたという発表もありました。水産生物学科では顕微鏡でエビを観察して種類を同定し、栄養学の体験授業では、身近なことから食について学ぶ大切さを感じました。ブライダル分野の実習、未来を変える可能性を持つ材料研究、国際的な視野を身に付ける学びなど、それぞれの分野の魅力が生徒自身の言葉で伝えられました。

自分の進路を考えるきっかけに

生徒からは、「現地に行ったことで新しい発見があった」「これから高校生活でやりたいことが変わってきた」という声もありました。今回の体験と発表は、自分の興味を確かめ、これからの学び方や進路を具体的に考える貴重な機会となりました。